

# かべ あな だい さん わ 壁の穴、第三話



ぼく かべ あな そと で かべ あな ぶつだん うし  
僕は、壁の穴からそっと外に出た。壁の穴は、仏壇の後ろ  
にある。きっと、人間達は、この穴を隠すために、仏壇をこ  
こに置いたんだろう。前に住んでいた家もそうだった。  
そこは、壁の穴の前に、本棚が置いてあった。僕達にとっ  
て、隠された壁の穴の中は、完璧な家だった。

ぼく ぶつだん かべ あいだ すきま みち とお ろうか  
僕は、仏壇と壁の間にある隙間の道を通して、廊下の  
方へと向かった。廊下を照らす朝日が眩しかった。  
きょう あつ おも  
今日もまた、暑くなりそうだなあと思った。

とお あさ かあ  
遠くから、「クミコ、朝ごはんよ～」と、クミコの母ちゃんの  
こえ き ぼく ぶつだん かげ さが  
声が聞こえた。僕は、そっと仏壇の陰からクミコを探し  
た。クミコは、廊下に寝っ転がっていた。座布団の上で、  
ひなた み ざぶとん  
日向ぼっこをしているように見えた。座布団から、クミコ

の<sup>あし</sup>足がはみ<sup>だ</sup>出していた。あったかくて<sup>きも</sup>気持ちよさそうな  
<sup>ばしょ</sup>場所だった。

## Vokabular

### Bitno

隠す <i>glagol (五)</i> • skrivati	かくす	遠く <i>imenica, prilog, no-pridjev</i> • daleko	とおく
本棚 <i>imenica</i> • polica za knjige	ほんだな	寝っ転がる <i>glagol (五)</i> • zaleći	ねっころがる
完璧 <i>na-pridjev</i> • savršen	かんぺき	日向ぼっこ <i>imenica, suru-glagol</i> • izležavanje na suncu	ひなたぼっこ
隙間 <i>imenica</i> • pukotina	すきま	はみ出す <i>glagol (五)</i> • proviriti(stršati?)	はみだす
眩しい <i>i-pridjev</i> • sjajan, zračeci(zasljepljujuć?)	まぶしい		

### Ostalo

僕 <i>zamjenica</i> • ja, muški	ぼく	穴 <i>imenica</i> • rupa	あな
壁 <i>imenica</i> • zid	かべ	外 <i>imenica</i> • vani	そと

出る <i>glagol (一)</i> • izaći	でる	中 <i>imenica, no-pridjev</i> • unutra	なか
仏壇 <i>imenica</i> • Budistički oltar (kućni)	ぶつだん	間 <i>imenica</i> • prostor (između)	あいだ
後ろ <i>imenica, no-pridjev</i> • iza, otraga	うしろ	道 <i>imenica</i> • put	みち
人間 <i>imenica</i> • čovjek	にんげん	通る <i>glagol (五)</i> • prolaziti pored	とおる
達 <i>sufiks</i> • plural	たち	廊下 <i>imenica</i> • hodnik	ろうか
置く <i>glagol (五)</i> • smjestiti(staviti?)	おく	方 <i>imenica</i> • smjer, način	ほう
前 <i>priložna imenica</i> • prije	まえ	向かう <i>glagol (五)</i> • ići prema(uputiti se prema?)	むかう
住む <i>glagol (五)</i> • stanovati	すむ	照らす <i>glagol (五)</i> • obasjavati	てらす
家 <i>imenica</i> • kuća	いえ	朝日 <i>imenica</i> • jutarnje sunce	あさひ

今日 <i>imenica</i> • danas	きょう	探す <i>glagol (五)</i> • tražiti	さがす
暑い <i>i-pridjev</i> • topao	あつい	座布団 <i>imenica</i> • zabuton (jastuk)	ざぶとん
思う <i>glagol (五)</i> • misliti	おもう	上 <i>imenica, no-pridjev, prilog</i> • iznad	うえ
朝ごはん <i>imenica</i> • doručak	あさごはん	見える <i>glagol (五)</i> • biti viđen(vidjeti se?)	みえる
母ちゃん <i>imenica</i> • mama	かあちゃん	足 <i>imenica</i> • noga	あし
声 <i>imenica</i> • glas	こえ	気持ち <i>imenica</i> • osjećaj	きもち
聞こえる <i>glagol (五)</i> • biti čut(čuti se?)	きこえる	場所 <i>imenica</i> • mjesto	ばしょ

## Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod. Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz sam tekst.

隠す ・ 本棚 ・ 寝っ転がる ・ 日向ぼっこ

---

---

---

---

---

---

---

2. Odgovorite na pitanja:

(i) 壁<sup>かべ</sup>の穴<sup>あな</sup>はどこにある？

---

---

(ii) 語り手<sup>かた</sup>は、なぜ人間<sup>て</sup>たちは仏壇<sup>にんげん</sup>や本棚<sup>ぶつだん</sup>を壁<sup>ほんだな</sup>の穴<sup>かべ</sup>の前<sup>あな</sup>に置く<sup>お</sup>の、だと思<sup>おも</sup>っている？

---

---

(iii) 廊下<sup>ろうか</sup>に出<sup>ひつよう</sup>るために何<sup>ひつよう</sup>をする必要がある？

---

---

(iv) クミコのお母さんは何のためにクミコを呼んでいる？

---

---

(v) クミコは何の上にいた？

---

---

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

眩しい ・ 隙間 ・ 隠している ・ 寝っ転がっている ・ 本棚  
完璧 ・ 遠く ・ はみ出している ・ 日向ぼっこ

(i) サダコは顔を髪で\_\_\_\_\_からよく見えない。

(ii) 私の\_\_\_\_\_はでかくて古い、だからそこで色んな本が見つけれられるよ。

(iii) \_\_\_\_\_なワンピースを昨日店に見つけたけど今月金はちょっときついので買わなかった。

(iv) 雨が屋根の\_\_\_\_\_からぽたぽた落ちていた。

(v) クエーサーとは、非常に遠方にある、\_\_\_\_\_輝きを放つ天体だ。

(vi) 彼らはあまり\_\_\_\_\_に行かないうちに1人の老人に会った。

(vii) 猫達はこたつの下で\_\_\_\_\_。

(viii) 桜子さんは\_\_\_\_\_が大好きなんだ、特に自分の庭でミカンの木の隣で。

(ix) 「母さん、母さん、枝は土から\_\_\_\_\_、変だよ。」と幼い武君が大声で自分のお母さんに言った。